

## 平成 29 年度環境カウンセラー研修（中部地区）プログラム(予定)

日時：平成 29 年 12 月 6 日(水) 会場：ウインクあいち 1204 会議室、1004 会議室  
(愛知県名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-38)

時間(分)	プログラム	備考	
10:00(15)	開会(1204 会議室) オリエンテーション	開場: 9:40(予定)	
10:15(105)	<b>全体研修</b> 課題解決へのアプローチを学ぶ ～PCM(プロジェクト・サイクル・マネジメント)手法による 問題分析を通じて～  PCM手法( )の概要説明後、簡単なワークショップを実施(1グループ 5名)。ケーススタディを通じてPCM手法の理論を把握し、計画策定や課題 解決の論理的なアプローチを学ぶ。  講師：吉川 典子氏(有限会社人の森 研修事業部長)	事前資料有	
12:00(75)	昼食 新規登録者向け研修(該当者のみ) 12:15～ 昼食		
13:15 (180)	<b>分科会 1 (30 名程度)</b> トライ！実践！PCM  午前中の全体研修で把握した PCM 手法による問題分析手法の理解を、実 践を通じて一層深める。 自身の活動・取組の企画立案へのフ ィードバックを目指す。  ・ワークショップ ・5名×6グループ ・事前資料有  講師：吉川 典子氏ほか 2 名 ( (有)人の森)	<b>分科会 2 (30 名程度)</b> 「伝え方」のコツとは？  記事見出しの作成や構成に携わる 現役の新聞記者を招き、「伝え方」の コツ・心がけていることなどを、レク チャー・ワークショップを通じて学ぶ。 自身の活動・取組を対外的に説明す るスキルの向上を目指す。  ・レクチャー ・ワークショップ 実際の記事を事例として見出し を作ってみるケーススタディなど。  講師：原 葉子氏 (中日新聞社編集局整理部記者)	適宜休憩挟む
	(移動)		
16:15(30)	パネルディスカッション(全体の振り返り・意見交換)		
16:45(15)	閉会式(修了証交付)		

PCM 手法について PCM=プロジェクト・サイクル・マネジメントの略。

主に途上国に対して、より効率的かつ効果的な開発援助事業を行うために開発された手法。参加型・一貫性・論理性を特徴とし、その基本的な考え方は日本の市民主体の活動に広く応用し得る。活動や取組のニーズや本質を論理的かつ正確に把握することができ、活動の効果と持続性を高める効果が期待される。

分科会について

今年度、分科会の市民部門・事業者部門の別はありません。分科会については、申込時に希望を記載していただきますが、希望に添えない場合もあります。その場合も原則として分科会の変更は認められませんので、ご了承ください。受講対象の分科会は 11 月下旬に送付する受講決定通知にてお知らせします(事前資料についても併せて提供予定)

遅刻、途中退席された場合には修了証を交付しない場合があります。